

ヤマハニュース

YAMAHA NEWS NO.135

9

1974
SEP.



天気の良い日はバイクに乗ろう。

トレールランド



SUGO

菅生

ヤマハ発動機株式会社

「健全なモータースポーツの世界をひろげるヤマハは、単にモーターサイクルという商品だけでなく、新しいスポーツレジャー、スポーツする場所をも含めて、原点からひろくモーターサイクルとそのあり方を考えています。

宮城県仙台市郊外で来年のオープンを待つ「トレールランド菅生」もそのひとつ。

ここは、自然と一体となって楽しむモータースポーツを中心とした総合スポーツランド。モーターサイクルを愛する人たちのための、まったく新しい世界です。

10月20日には、ヤマハSLクラブのメンバーが、ここで「ヤマハSL大会」を開催します。

ヤマハSL大会

期日：10月20日(日)

会場：宮城県柴田郡村田町トレールランド菅生

主催：ヤマハSLクラブ

★内容★

- SLモトクロス教室 ●SLモトクロス大会
- SLロードレーシングスクール菅生 ●SLトライアル教室 ●SLトライアル大会 ●SLカートレーシングスクール菅生 ●SLダートレース ●SLモトバイク ●SL自転車ロードレース教室 ●SL自転車ロードレースほか

★お問合わせは、トレールランド菅生・ヤマハSL大会係へ

〒989-14 宮城県柴田郡村田町大字菅生字猪石6-1

Tel. 022483 (村田局) 3111(代)



るモータースポーツの新世界



東北のゆたかな緑につつまれて、いま着々と完成に向うトレールランド^{+こが}菅生——。230万平方メートルの広大な敷地のもと、人間と自然とスポーツのあり方を根本から見つめ直して、憩い、プレイするまったく新しい総合スポーツの場としての誕生が約束されているのです。

若さと情熱が、バイクを共通のものとしてトライ、チャレンジするモータースポーツゾーンは明年オープン。1周2.64キロのロードレーシングコースをはじめ、いろいろとコース設定が組換えられるモトクロスコース、変化に富んだトライアルコース、テクニックのダートトラック、さらにカートコースを加えてのモータースポーツゾーンは、スポーツレジャーを健全に楽しむ若人のメッカとして全国で初めてのまったく新しいゾーンです。

待たれる来年のオープンを前に、来る10月20日には「ヤマハSL大会」が行われますが、ここに完成間近かなトレールランド菅生の概容をご紹介します、フレンド店みなさまへのご報告といたします。

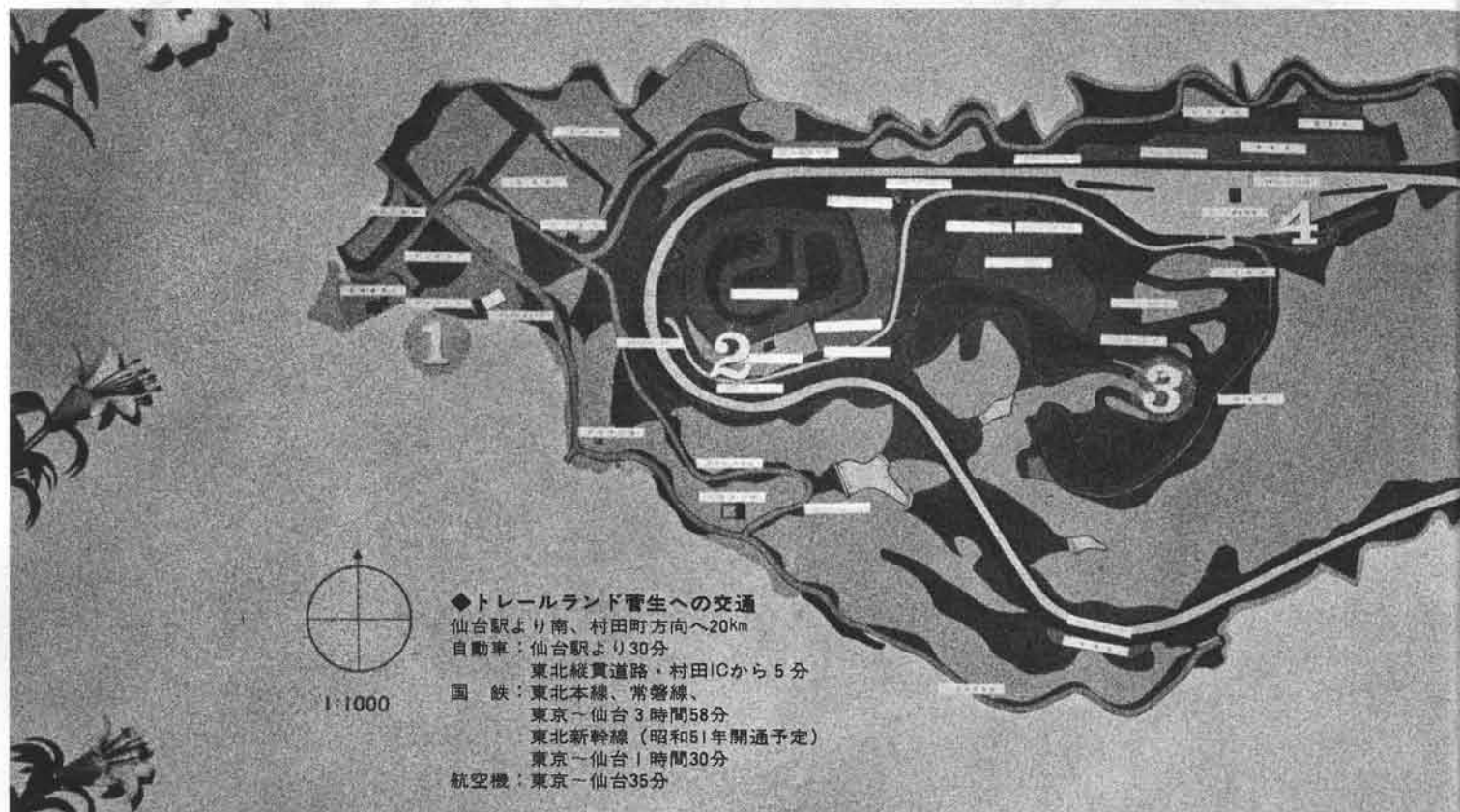


スタート地点より第1コーナー方向へ。緑ゆたかな自然に囲まれたモトクロスコース。



背景に遠く蔵王の山なみをのぞむトレールランド菅生モータースポーツゾーン。ロードレースコースも完成は間近か。

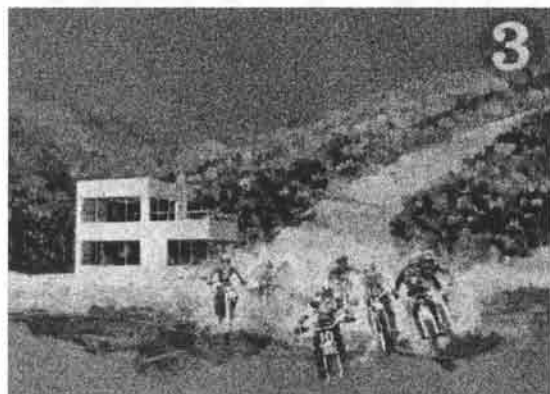
大きく、のびのびとヤマハが創



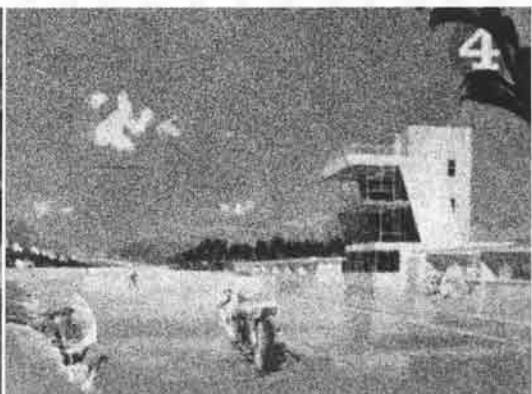
①正面ゲート。車両のスムーズな入場、退出ができるようゴーストストップの信号をもつ。



②多彩なイベントが行えるトラックコース。一周450mで、巾員は20~30m



③バリエーションゆたかなコース設定ができるモトクロスコース。総延長1.7km以上。



④一周2.64km、巾員10m、グリーンベルト3~14mのロードレースコース。



通勤の、あの混雑はもうたくさんです

オールヤマハ展示会をひらいた

オートメカニカルショップ・フジイ(川口市)



展示車60台をあつめての“オートメカニカルショップ・フジイ”のオールヤマハ展示会。円内はこうした企画を恒例の行事としたいと語る藤井吉守社長

——足、現在の交通機関について、チョット考えて見ませんか？——、これは埼玉県川口市のフレンド店「オートメカニカルショップ・フジイ」(藤井吉守社長)さんの展示会を知らせる折り込みチラシの書き出しの一つです。このチラシの文面は最後に、——あの夏の通勤、混雑はもうたくさんです。原付自転車は簡単、経済的、最も自由です——とあります。

「川口は鋳物の街、狭い路地が工場と工場の間を縦横に走っています。そのためか小回りのきくオートバイが重宝がられ、かなり多く走っているんです。これに、かねてから目をつけていたんですが、ところが、私の店は中心から離れたどちらかという住宅地帯にあるんです。それなら通勤の足として認めてもらうのが一番だ、と思い展示会を企画、PR用として五万枚、五回に分けたチラシの配布作戦を考えました。チラシの文面も、お客さまが「なるほど」と思っていただけのような内容にしました。もちろん五回とも内容を変えたことは言うまでもありません。」

藤井吉守社長がこうした展示会の告知案を思いついたのは二カ月前。当初は感謝祭として開催する予定であったのが、急拠「オールヤマハ展示会」に変わった理由を、「感謝できるお客さまが居るといことは、大変ありがたいことです。しかし、こうした感謝は完璧な修理や接客態度で表わせますし、まだまだ感謝できるお客さまを増やしたいと思っていることなんです。」と述べます。

店に隣接した会場は道路側にミニやメイトの少排気量車がズラリ、そしてモトクロツサーやトライアルも。一段高い展示台には、Y

君の車の具合は？
 本日展示会開催中
 にも簡単な修理
 調整を受けます
 (例、ブレーキ調整等)
 “コロバヌサキノツエ”
 簡単な点検と安心走行
 “安全運転”
 気軽に申し込下さい
 ヤマハ発動機(株)南信越
 営業技術課 伊藤

さびやかにスタート
GO! GO!
 ゴーノゴノヤマハ
 ヤマハ

足
 足は、人間の生命線。ついに「足」の安全運転を促すための安全運転の啓蒙活動として、足に関する知識を広く普及させる。安全運転の大切さを伝える。足に関する知識を広く普及させる。安全運転の大切さを伝える。足に関する知識を広く普及させる。安全運転の大切さを伝える。

御存知ですか?
 足に関する知識を広く普及させる。安全運転の大切さを伝える。足に関する知識を広く普及させる。安全運転の大切さを伝える。足に関する知識を広く普及させる。安全運転の大切さを伝える。

富士

チラシをシリーズ化、5万枚を配布。また会場では安全点検のサービスも行った。



YZ250の前でレース談議。話がはずんでチューニングから部品、用品の要望まで……。



お楽しみのスピードくじ。さてどんな賞品が……。

Z250が置かれ若い人の目を引きつけます。よく手入れされた中古車が整然と並び、どんなお客さまの要求にも答えることができるように会場がつくられています。

「この展示会の準備のために、一カ月をかけた。途中でワイフが見かねたのか、知恵を貸してくれました。私はこれ幸いと展示用中古車の整備に専心。おかげでまずまずの構成で展示会を開くまでこぎつけました。ワイフは本当によい協力者です。

抽せん会の賞品は、誰もがみんなに喜んでもらえるようにと心がけ、ワイフをはじめいろいろな人に意見を求めました。また会場に二輪車で来た人の点検サービスやメカニカル相談など、欲ばった内容にしました。

見てさわれる展示会も、会場を離れると同時に二輪車の姿が失なわれるのではと、カタログやポスターを数多く用意、お客さまの動きに合わせてカタログを手渡せるようにしました。つまり「ミニコーナー」に足が止まったらミニのカタログ、「トライアルコーナー」ならTYのカタログと、ミック・アンドリュウスのポスターと、万全の準備をしました。

こうして開催された「オートメカニカルショップ・フジ」さんのオールヤマハ展示会は七月十四日、ときどき小雨の降るあいにくな天気の日にもかかわらず、朝から若いクラブ員をはじめ、子供の手を引いた年配の方や奥さまとつれだった若いご主人など多くの人が展示会場に訪れ、カタログを片手に六十台におよぶ展示車を熱心に見ていたものでした。

(埼玉県川口市根岸320-7 0482-66)

天気の良い日はバイクに乗ろう

需要をつくる展示即売会

団地のみならずまどろろ自由にご覧ください

移動展示即売会で実績あげる 鈴木モーターズ商会（四日市市）

PR活動には費用と時間がかかるもの——と割り切り、あとは企画力と努力に全力を傾注して大きな発展をきづいてきた三重県四日市市のフレンド店・鈴木モーターズ商会（鈴木建也社長）さんの恒例の行事は移動展示即売会です。

いまから十九年前、開業当初は小規模な商売でスタートした鈴木モーターズさんは、中京臨海工業地帯の拡充にともなう近在の人口増加の波にのって商圏を拡大、いまでは1千650平方メートル（500坪）の敷地に、パーツセンターも保有する立派なお店に成長させています。その発展の中核をなしているのが、積極的なPR作戦と、きめこまかい販売促進策でした。店頭の広場や近在の団地広場を利用して行われている展示即売会をもっとも重要な行事のひとつでもあります。

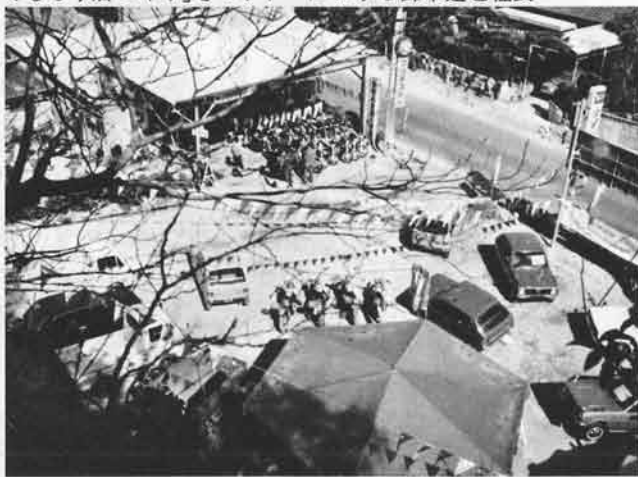
団地の広場利用には、いろいろとむずかしい制約がありました。が、地域社会に結びついた鈴木モーターズ商会さんの努力が認められていまやおなじみの行事でもあります。幼稚園に通う園児の送迎用に、お母さま方の役立つ足として使われているのがメイトという例を



円内は「お客さまに精神的な満足をしてもらう店づくり」をモットーにする鈴木建也社長



をもつ店内ショールーム。



店頭横には、ちょっとしたモーターショーも開けるほどのスペースをもつ。

いま すぐとれる 50cc 免許

お買上げの方にもれなく

ヤマハ新車 大展示会 無料点検

あなたのオートバイをタダで点検しま

10月より部品コーナー開設しました

新車 謝恩特売車 長期分

ヤマハ Y65 80 Y65 90 Y65 70

鈴木モータース商会

鈴木商会

実績をものがたる各種のチラシ



団地広場を利用した展示即売会。



堂々たる鈴木モータース商会さん



奥さまの花江さん(左)はメイトの試乗車で愛娘かなちゃんを幼稚園に。



常設ショー会場なみのはなやかさ

みてもその結びつきのつよさが分かります。昨年一年で、鈴木モータース商会さんは都合六回の展示即売会を開いています。平均して二カ月に一回というピッチになりましたが、やはり、春、夏、秋のシーズンに集中されることはいうまでもありません。そこで、移動展示即売会ということにもなります。

名古屋のスタジオで吹きこんだ呼びかけのテープには、鈴木モータース商会のPRと展示即売会の主旨が簡潔にまとめられてレコーディングされています。

こうしたテープを流しながら、宣伝カーが近在の町並みをくまなく走ります。いっぽう会場に設けられたステージでは、第一楽器隊さんの応援で、パンチのきいたエレキバンドが若者向きの音楽を流し、展示会の雰囲気をお祭り気分にもりあげます。

「人と同じことをやっていたのでは、このむずかしい時節を乗り越えていくのはたいへんだ」と語る鈴木建也社長。変動はげしい情勢の中にあって、絶えず一歩先を読んで、「これは」と思う販売策をつねに頭において着実な商売を実行されているのです。

もちろんこのような陰には奥さまの花江さんの大きな助力があります。多種多様なお客さまの管理から、売掛け金など帳簿面の経理仕事はいっさい奥さまがうけもっています。

「競合する販売店さんが近くにありませんので、その点で恵まれている」という鈴木建也社長ですが、それに甘んじることなく、「お客さまが精神的に満足できる店」をモットーに手堅く商圏を広げ、今年も三重県で第一位の販売実績をつみ重ねています。(三重県四日市市西坂部町3592 0593-31-04



用意されたTZ250のニューマシンで、さあいよいよ待望の2日目・実技講習。もちろんここでも基本中の基本が叩き込まれる。

天気の良い日はバイクに乗ろう

需要をつくるSL教室

セオリーをマスターして“安全に速く”

第一日目は、ロードレースのルール、マナー、メカなどの座学。こうしたことは意外に知っているようで知られていないことが多いもの。



バイクを扱って経験ゆたかなインストラクターを中心に、正しい乗り方、安全を確保するテクニクを学ぶ各種のSLスポーツツレジャー教室がいま各地で開かれています。

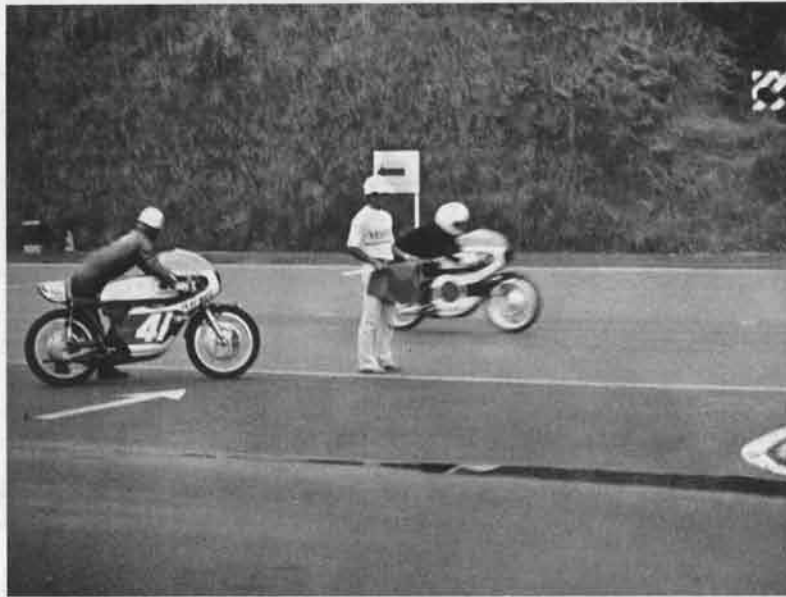
バイクのある生活からマイバイク時代へとすすむヤマハの提案へ天気のよい日はバイクに乗ろうのPRキャンペーンを、さらに身近なものへと役立てるこのSLスポーツツレジャー教室の開催に、お店も、お客さまともどうぞ積極的にご参加ください。



完全整備車で走る//これがロードレースを安全に楽しむ第一歩。「完全整備」とは？受講生は改めてメカの深さを再認識。



ヤマハコースでの実技講習は2日間にわたる。スタート前のコース説明、ライダーの服装、マシンの状況……チェックも怠りなく。



この教室での成果をトレーニングに、そしてレースに生かす。基本の完全なテクニックは驚くほどの上達を示すものだ。



少数精鋭、マンツーマン指導には、GPライダーのほか第一線バリバリのセニアライダーもアシスタントとして参加している。

存在をおおいにご利用ください。

こうしたこと「健全なモータースポーツの世界をひろげるヤマハ」の業績。お店でも「スポーツのヤマハ」の強力なアピールに、またモータースポーツを志すお客さまのクラブづくりに、「SLロードレーシングスクール」の

指針を与えているからです。レーサーには触れたこともない、という若者からすでにエキスパート・ジュニアとして活躍している人まで、これまでの受講生の内容もとどろですが「ビギナーには第一歩からを確実に、ベテランには大切な基本の再確認を」という大きな成果をもたらし、その収獲のほどは早くも今シーズンの全日本選手権シリーズで立証されているほどです。

日本を代表する超一流GPライダーによるマン・ツー・マンの指導。最新鋭TZ250を使用して静岡県袋井のヤマハコースでの二泊三日に渡る合宿教室。そして何よりもレーシング・ライダーとしてのマナー、ルール、テクニック、メカニズムのすべてに基本中の基本のマスターを第一とし、第一歩からの確実な指導が「すぐれたマシンで十分な基礎を身につけ、ロードレースを安全に楽しみたい」という人びとに大きな

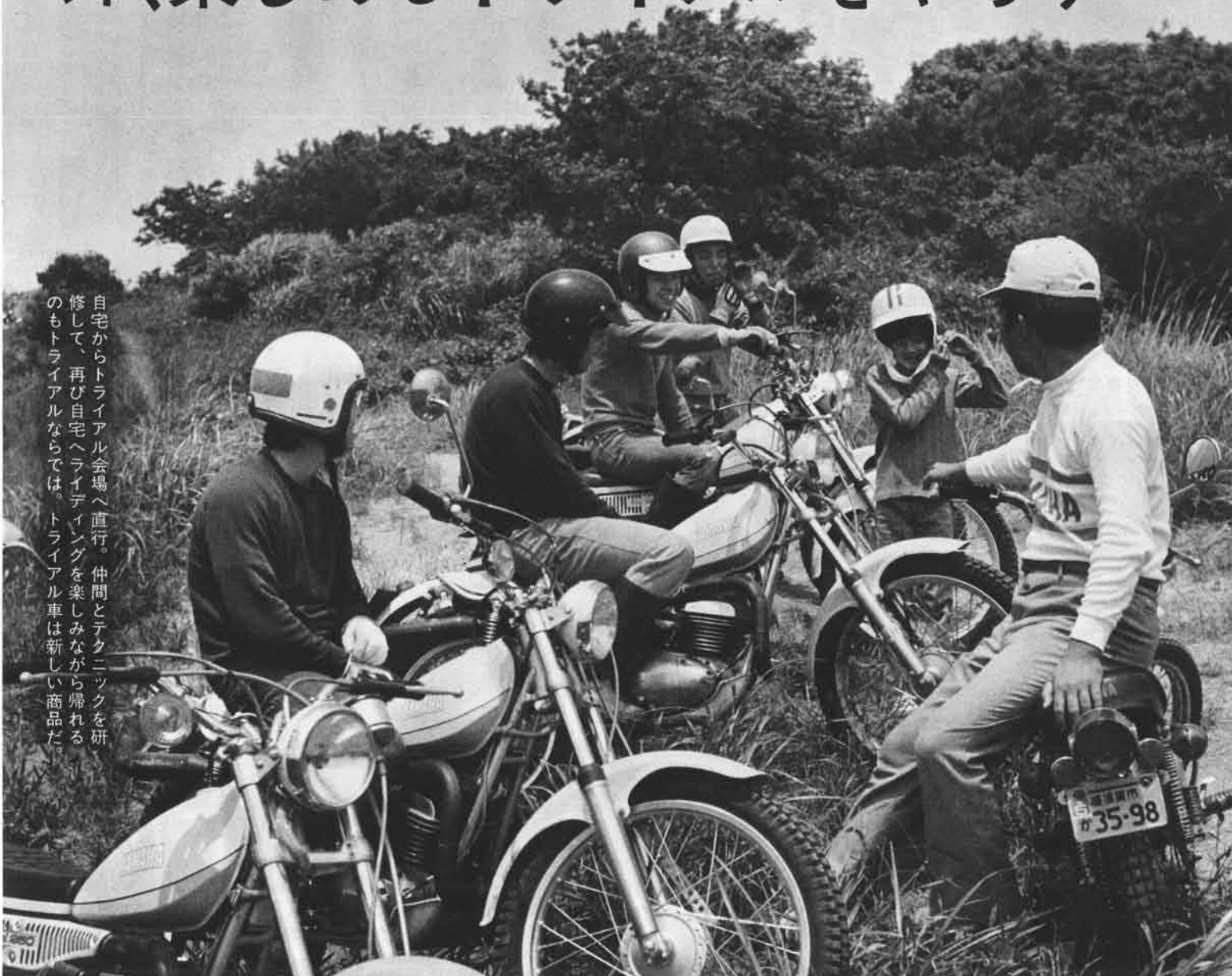
数あるモータースポーツの中でも、ひときわ華やかなロードレース。スポーツの秋の訪れとともに、このロードレースもメインイベントの日本グランプリ大会（十月十二、十三日）を迎え若者の人気も大いに高まって来ているところです。こうした中で、ロードレースを志す若い人たちが絶大な関心を寄せられているのが、この春からスタートした「SLロードレーシングスクール」です。

天気の良い日はバイクに乗ろう

需要をつくるSL教室

即、楽しめるトライアルをやろう

自宅からトライアル会場へ直行。仲間とテクニクを研修して、再び自宅へライディングを楽しみながら帰れるのもトライアルならではの、トライアル車は新しい商品だ。



SLトライアル教室のツールとマニュアル。





坂を登って、立木をまわって……。トライアルの楽しみの世界は大きい。



仲間とくっつくのらないミーティング。家族ぐるみの参加も、もはや珍しくない。講師はアマチュアスポーツライダー木村博会長



おろそかにはできないタイヤ空気圧の調整。



練習もルールにもとづいて行くと上達は早い。



路面を的確に読みとってテクニックに生かす。

九月といっても、日中の陽射しはまだまだつよいものがありますが、それも中旬すぎまでのこと。やがて紅葉の季節を迎え、いよいよ秋となり、この秋から本格的なシーズンに入るのがトライアルです。

シリーズ化されて二年目に入るMFJのトライアル競技のメイン・イベント、全日本選手権も十一月十日（会場未定）に開催されることになっており、トライアルに対する人気もまた一段と盛りあがってきます。

ここでひとときわ目につく存在が『ヤマハトライアルTY250J』の活躍。世界的なトライアル・ライダーとして名高いミック・アンドリュウスが推奨する「TY250J」は、トライアル・マシーンとしては世界のトップレベルをいく性能をもつもので、この秋の商戦にはもっとも有望な商品としておすすめいただけるものであり、さらに加えて「SLトライアル教室」の開催は、トライアル・マシーンを持つ喜びを倍加させずにおきません。

トライアル競技の本質は、バランスの乗物といわれる二輪車をいかに巧みに操縦するかそのテクニックの信頼性を競うことにありますが、競技への参加は別にして、バイクの新しい魅力をひきだすものとしてお店の商圏の拡大に大きく役立つものです。

どうぞ、秋の商戦のプランの一つに、SLトライアル教室をご検討ください。教室開催に必要なツールも各種が用意されています。（写真は横須賀・アマチュアスポーツライダールのトライアル・テクニック研修会）

天気の良い日はバイクに乗ろう

需要をつくるSL教室

SLトレール教室 mini 案内



この春からヤマハが提唱してきた「天気の良い日は、バイクに乗ろう」キャンペーンは「青空シャツプレゼント」もあって、大きな反響を呼び起こしています。これに呼応して、七月からはSL活動の一環としてヤマハミニGT50/80を対象とした「SLトレール教室 mini」もスタート。「マイ・バイク時代」をさらに楽しくひろげていくことになりました。

お店でも、どうぞよろしくお願いいたします。

マイバイク時代の 楽しさと安全をつなぐ

「SLトレール教室 mini」

SLトレール教室 mini は、従来のトレール教室とは異なる新企画のものです。

その意図するところは、親しみやすく、どんな方でも手軽に乗れるヤマハミニGT50/80を使って、オートバイの正しい乗り方を身につけるとともに、そのテクニックを応用して、趣向をこらした競技やゲームを行ない、オートバイの効用性や楽しさを多岐にわたって生かそうというものです。

T.C.M.S.で人気のミニトレールクラスやヤマハミニだけのスポーツクラブなど、そのユニークな特性を生かして楽しんでいるヤングはすでに多ぜいいます。

「SLトレール教室 mini」は、こうした楽しさをさらにひろげ、一台のヤマハミニをベースにまったく新しいさまざまなスポーツレジャーのひろがりを求めるものです。こうして、「SLトレール教室 mini」はオートバイのある生活を、すべての方に安全に楽しく広げていただくための催しです。

どなたでも

すぐに参加できる内容で

安全運転を基本としたオートバイの楽しさの普及をはかる「SLトレール教室 mini」の内容は――

- 一、安全運転の基本
- 二、基本走行、操作および技術
- 三、応用競技、ゲーム

といった順で展開され、基本から確実に

に楽しさと安全をつないでいきます。

また会場も、河原や空地から自動車練習所や駐車場など、あまり広くないスペースで開催できますし、一人でも多くの人に楽しさを知ってもらうために人の目につきやすい場所が好ましくなっています。

用意するツール類も簡単にすみ、開催にたずさわる人手も少なくすむというのも「SLトレール教室 mini」の大きな魅力でしょう。

以下に、この催しの効果を一段と増幅させるための留意点をあげておきます。これからのスポーツの秋の拡販に、大いに活用ください。

○使用車両は、原則としてヤマハミニGT50/80、お客さまの持込みです。

しかし、多くの人にヤマハミニの用途の広さ、おもしろさを知っていただくためにデモカーを用意し、参加をおすすめてください。

○初心者の方には乗り方教室、免許のない方には原付免許教室を。また、ミニバイク展示会などとの併催もよいでしょう。

○主眼は楽しいムードにあふれたファミリーな教室です。

○一人でも多くの方に、ヤマハミニの魅力を知ってもらいましょう。

SLトレール教室 mini



SLトレール教室 mini インストラクター講習会ひらかる

8月の全国スタートを前に、7月10、11日には関東、九州、四国のフレンド店さん50店が静岡県磐田市のテクニカルセンター磐田に集まり、大月信和、酒井奎吾の両ヤマハ特別インストラクターから特訓を受け、趣向をこらした多彩なプログラムをマスターしました。

SLトレール教室 mini



「SLトレール教室mini」は、まず安全運転の基本からスタート。安全運転にも、モータースポーツにもこれにつながる。



車からおりて後押し競走。取りまわしの上手、下手が一目りょう然。



2台のミニがペアになってのアベックレース。テープが切れたら、結び直しての競走。



会場脇の荒地を利用して、ミニトライアル大会も楽しめる。パワフル・ミニの面目躍如。



リンボーゲームならぬ、ミニでの門くぐり。日頃のカンが大いにモノをいうゲーム。



やぶさめレース、走りながら的をめがけてボールをぶつける。これ意外にむずかしいです。



2本のパイロンを回わる鬼ごっこ、題してランウェイ・レース。楽しさも抜群、ミニならではの競技。

V4・高井・TZ350 圧勝でチャンピオン決定!!

全日本選手権第4戦
'74鈴鹿200マイル
ロードレース



ロードレース界に夏の到来を告げる「鈴鹿耐久ロードレース」は、省資源とレースの安全性から「鈴鹿200マイルロードレース」と内容を改め、7月21日、ツツ明け第1日目の三重県・鈴鹿サーキットで開催された。

200マイルといえば、1周6キロのコースを52周。26週の2ヒート、エキスパート・ジュニア、セニア750ccだけのレースである。

常勝をつづけるTZ750、TZ350のヤマハ勢に、カワサキXR750、750H2R、スズキTR500II、ホンダCB500なども加わって、決勝レースは今シーズン最高のもり上がりみせた。

第1、第2ヒートともレースは、カワサキXR750の阿部孝夫の先行で始まったが、TZ350を駆る高井幾次郎(プレイメイトRT)が、第1ヒート4周目、第2ヒート2周目からトップに進出。2位に第1ヒート40秒、第2ヒート24秒という大差をつけて圧勝。セニア750ccクラスに4戦全勝で、晴れのチャンピオンを決定した。

完全優勝と'74チャンピオンに向かって、2分28秒台というハイペースでとばす高井幾次郎。



高井を中央に左はTZ350で総合2位の浅見貞夫、右はTZ750で総合3位の大脇俊夫のヤマハフレンド。上位13位までをTZで独占。



ゴールインの高井にピットからはゴック・ロー・サンサインが。

完璧な整備技術から 生きたセールストークも生まれる

その1

ヤマハ技術講習会TXコースから



整備技術の基本から応用技術まで、質疑応答をまじえてすぐに役立つサービス技術を学ぶ「ヤマハ技術講習会」は、また生きたセールストークを交換する商品知識の研修の場でもあります。春からスタートしたこの「ヤマハ技術講習会」は、いま各地で行われていますが、これは本社営業技術課が主宰したTXコース＝4サイクル編。基礎理論、点検と調整の二大項目に分けて行われた3日間の講習から、これはと思うテーマをひろって紹介してみました。どうぞ、お目とおしくください。

基本は エンジン作動の三要素

へまえせつゝ エンジンを調子よく動かすには「良い燃料＋十分な圧縮＋良い火花」が必要で、これを「エンジン作動の三要素」といっています。

「良い燃料」とは、質的にガソリンが優良であるということのほかに、エンジンに要求されるパワーを十分に発揮できるよう、走行状態に見合った効率のよい燃焼が行われるということの意味します。したがって「良い燃料」を得るには吸・排気系、とくにエヤクリナー、キャブレターの整備が重要な作業となつてきます。

またガソリンの気化は温度、気圧、湿度によつて変わってきます。その一例が夏と冬の始動方法の差であり、エンジンが冷えているときより暖まっているときのほうが問題なくかかりやすい理屈でもあります。つまりガソリンは温度が高く、気圧が低く、湿度が少ないほど蒸発(気化)しやすいものなのです。

このようなことから、工場におけるキャブレターのセッティングは標準仕様となつていきます。したがって、それぞれの使用状況に合わせて最適なセッティング技術をもつこと、これがよき整備士、信頼できる販売店としての重要なサービスでもあるわけです。

次に「充分な圧縮」について。通常いわれていることは、高圧縮であればあるほどパワーは出しやすいということ。しかしこれにも



スライドでエンジン構造の基礎理論を再認識

限度があつて、ふつう4サイクルでは8対1から10対1の範囲にあります。キャブレターから吸入されたガスは、圧縮することによつてさらに微粒子化され、効率のよい燃焼を果すことになりす。

圧縮について、吸・排気バルブの作動良否が重大な影響をおよぼすことはいまでもありませんが、さらにオイルの果す役割も忘れてはなりません。オイルというと、潤滑能力を真先に考えますが、気密、冷却、清浄、緩衝などにおいて、オイルはまた重要な役割を担っているのです。

「良い火花」とは、適切な時期に、適切な火花が飛ぶということです。すなわちピストンが圧縮上死点にあるとき最高の燃焼エネルギーが発揮されるように点火するということがこれは非常に大切なことです。

というのも、吸入されたよい燃料を十分に圧縮して点火しても、燃焼・爆発に至る時間的な経過(これを火焰伝ばといいます)があ

り、このタイミングを見込んでの点火でない
と、ピストンが上昇しきる前に爆発してノッ
キングを起したり、逆にピストンが下がり
はじめて爆発して、せつかくの燃焼エネルギー
を効果的に生かせなくなるからです。

点火時期の良否がやかましくいわれるのも
このためで、また高圧縮の中で点火すること
から、点火プラグには1万ないし1万5千ボ
ルトの高電圧がかけられ、「良い火花」を飛
ばす仕組みになっています。

ということ、以上のようなことが一つで
も欠けてはいけないということを再認識して
今後の整備に励んでいただきたいのです。

〔構造と作動〕

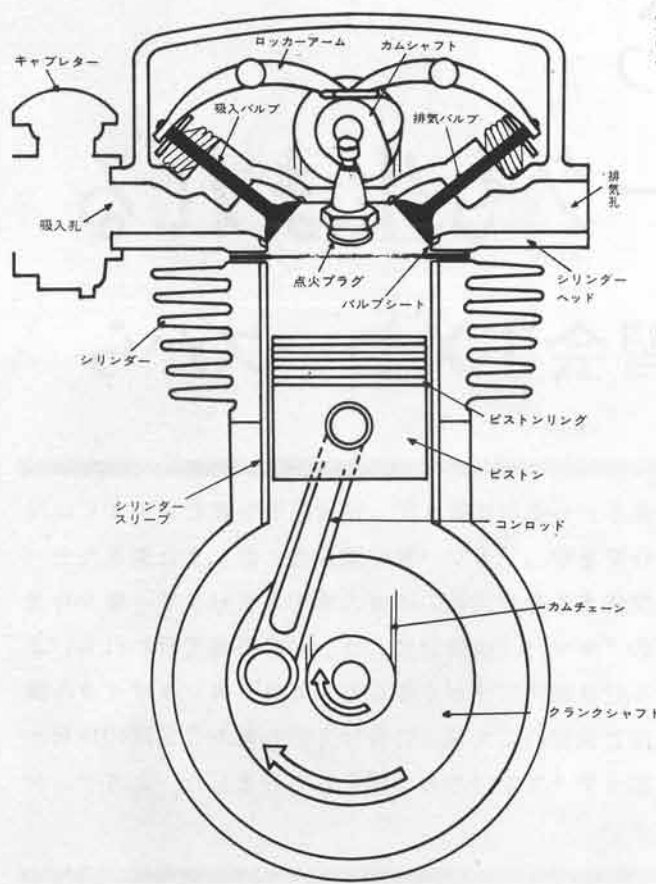
吸気、排気の二つのバルブを独立したバル
ブ作動機構で開閉し、吸入・圧縮・爆発・排
気のサイクルを、4ストロークすなわちピス

トンの上下二往復、つまりクランクシャフト
の2回転で行うエンジンが4サイクル、TX
シリーズのエンジンです。

■吸入について

燃料の吸入は、吸入バルブが開き、ピスト
ンが下降して行われる。しかし、実際は吸気
バルブ開はTDC(トップ・デッド・センター
↑上死点。ピストン最上昇位置)前10〜15度
(クランク角度)ぐらいから始まり、その閉
じはBDC(ボトム・デッド・センター ↓
下死点、ピストン最下降位置)後40〜60度ぐ
らい(→)ということはピストン上昇中)は開い
ている。これは、すぐに動けず、すぐに止ま
らない——というものの慣性を見こしての設
計なのである。

■圧縮、爆発について



4サイクルOHCエンジンと各部の名称

吸気バルブが閉じ、ピストンは上昇をつづ
けて圧縮行程に入る。点火は、TX 500を例に
とれば上死点前5度で行われる。これは前述
した火焰伝ばを考慮し、もともと大きな燃焼
エネルギーを圧縮上死点でとらえるためのも
のである。

■排気について

点火・爆発で、急激に押下げられたピスト
ンが下死点に至る前に、いまままで閉じていた
排気バルブが開く。燃焼で急激に膨張したガ
スの一部が排出され、さらに上昇に転じたピ
ストンが残留ガスを追い出す。
排気バルブは上死点後10〜15度ぐらいまで
開いて閉じる。

■バルブのオーバーラップ

吸気のとこで述べたように、吸気にそな
えて吸気バルブは上死点前15度ぐらいから開
くので、吸・排気の上死点を境に、前後20度
から30度ぐらいは吸気バルブ、排気バルブと
も開いていることになる。

これをバルブのオーバーラップといい、ね
らいは吸気、排気の効率向上にある。
もちろん、これらのバルブタイミングはエ
ンジンの設計によってそれぞれ独自のタイミ
ングが設定されるわけである。

■S・OHCとD・OHC

吸・排気バルブをシリンダーヘッドにおい
て燃焼室を形成するものをOHV↑オーバー
ヘッドバルブ方式といい、このOHV方式の



TX500の8バルブの配置

うち、バルブの開閉をつかさどるカムシャフ
トがシリンダーヘッド上にあるものをOHC
↑オーバーヘッドカムシャフトと分けて区別
している。

さらにこのOHC方式もカムシャフトが一
本であるか、二本であるかによってS・OH
C↑シングルOHCと、D・OHC↑ダブル
OHCとに分けられる。つまり一本のカムシ
ャフトで吸・排気バルブを開閉するものと、
吸気バルブは吸気バルブ用のカムシャフト、
排気バルブは排気バルブ用のカムシャフトと、
それぞれ専用のカムシャフトで開閉する機構
の差である。

これらの機構の差は、高速回転においてい
かにバルブの開閉を忠実にを行うか、その作動
の確実さにあり、OHVよりS・OHC、S
・OHCよりD・OHCの機構のほうが、よ
り高速回転に適した設計機構となっている。
それは端的にいうとカムシャフトからバルブ

の開閉作動に至る一連のバルブ機構の差で、これらがバルブにもっとも近接して、可動部分の小型化を果し、軽量で、高速回転においてもなお確実なバルブ開閉作動を働くようにしてあるのがD・OHC式というわけである。

■8バルブのメリット

通常、吸気バルブ、排気バルブはそれぞれ一気筒に一個となっているが、TX500にあつては吸気バルブ2個、排気バルブ2個、2気筒で計8個のバルブをもっている。これはバルブの有効面積の増大と、一個当りのバルブの重量を軽減して、D・OHCのねらい、すなわち高速回転時の性能をさらに向上させるための設計なのである。

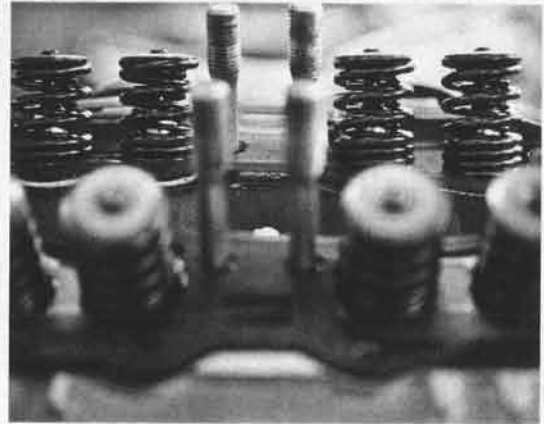
なお、D・OHCの場合、カムシャフトにINと刻印のあるものが吸気、EXと刻印されているものが排気のカムシャフトである。

■バルブスプリングについて

バルブスプリングは大小二本のダブルスプリングとなっており、その巻き方も均一でなく不等ピッチとなっている。さらに巻き方向は左向き、右向きの相反するものの組合せとなっている。

不等ピッチをとっているのはバルブのサージング（高回転時におけるバルブの躍り）を防止するためのものであり、巻き方向が逆に組合わされているのは、万が一にもバルブスプリングが折れても、大小のバルブスプリングが噛合うことのないようにクロスさせているためのものである。

バルブスプリングの良否は、自由長、直角度、バネ力の判定による。



バルブスプリング(ダブル)



バルブスプリング自由長の測定

■バルブについてのカンとこ

バルブヘッド—こんがりときれいに焼けていけば最上。

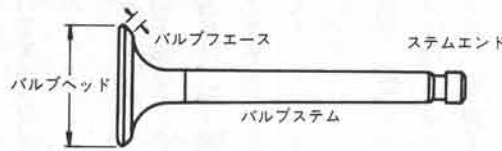
バルブフェース—バルブの生命ともいわれている重要部分。バルブフェースはバルブシートと密着して気密を保つ。フェースの中はエンジン設計によってそれぞれ異なるが(TX

750/650は1.3mm、TX500は1.0mm)、フェースの中央部分で一樣に当りが出ているれば最上。当り巾に切れ目があったり、当り巾が中央部分にないものは要注意。

長期間使用していると、バルブフェースとバルブシートの当り巾は次第に広がって行くようになる。広すぎると、わずかのカーボンを噛み込んでも、圧縮不良を起しやすい。このため、フェースの中は狭くとする技術傾向にあるが、逆にならぬのが放熱効果が苦しくなってくる。高熱にさらされるバルブヘッド部の放熱はフェースからバルブシート、そしてシリンダーヘッドへと伝えられるものなのである。

バルブステム—一分間に何千回という往復運動をする部分で、バルブガイドにより支えられている。このバルブステムに偏摩耗があると、バルブは真直ぐに往復しない。この良否はマイクロメーターによるが、その測定には熟練を要する。

一般にステムが均一に光っていれば問題ないが、片光りしているような場合は、明らかに偏摩耗している証拠といえる。バルブステム、バルブガイドの偏摩耗はオイル下がり原因でもある。バルブガイドのオイルシールが不良の場合も同様で、オイル消費量は大きくなる。



バルブ各部分の名称

オイル消費量は2千5百〜3千km当り、0.5〜1.0ℓが標準的で、オイル消費量が多過ぎる場合の原因は約70%がオイル下がりによるといわれているほどである。

ステムエンド—ロッカーアームに叩かれてバルブの押し下げが行われるところ。この当り箇所はステムの中心部よりずれている。これはバルブを回転させながら開閉させるためのもので、フェースとシートの当りを均一に保つことがねらい。したがってバルブステムの当り面は、設計値の当り箇所から環状にぶく光っている。

■タペットクリアランス

バルブステムとロッカーアーム間の間隙のこと。この間隙が大きすぎるといわゆるタペット音が高く出て、エンジン騒音の因となると同時に吸・排気効率が落ち、逆に小さすぎるとバルブを突きあげ、ピストンを破壊したりする。

この間隙の測定は、ヤマハ車の場合かならず冷間時、すなわちエンジンが冷えた状態にあるとき、ピストンが圧縮上死点にあるとき行う。その基準は、TX500が吸気側0.15〜0.20mm、排気側0.20〜0.25mm、同じくTX650は吸気側0.15mm(吸)、排気側0.20〜0.25mm、TX750は吸・排気側とも0.05mmとエンジン設計によってそれぞれ異なる。

■ピストンとピストンリング

ピストンはその頭部に↑印と数字の刻印があり、取付け方向とサイズを示している。矢印の示す方向が排気側で、この取付けを誤る

と吸・排気バルブの大きさの相違からくる頭部の逃げがなくなり、バルブの突き上げと同じような重大な結果を招く。またピストンはオフセット支持として、サイドブレッシヤー（側圧）をかけ、打音の発生を防止する設計となっており、この面からもピストンの逆方向の取付けは許されない。

ピストンリングは3本あって、上からトップリング、セカンドリング、オイルリングとなっている。上2本が圧縮用であることはいうまでもないが、トップリングは高圧、高熱にさらされることからハードクロームメッキ

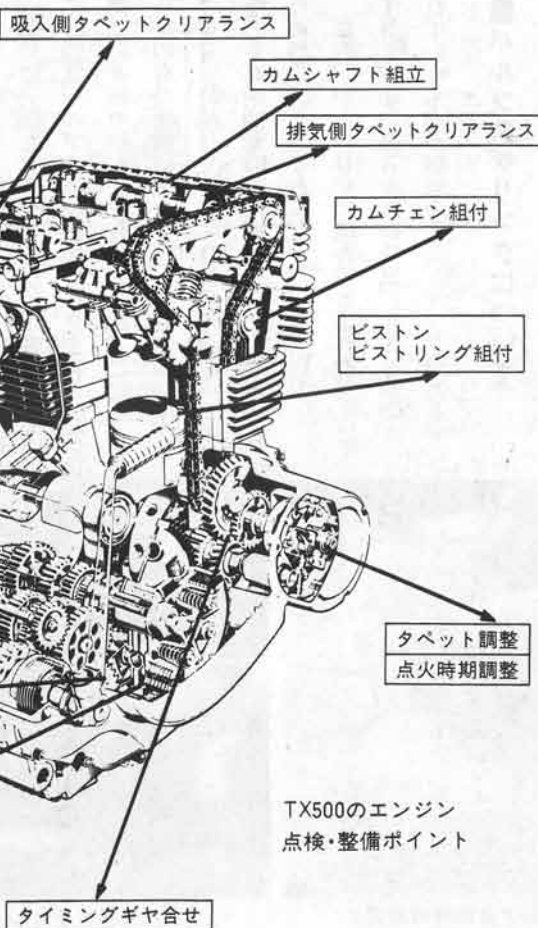
仕上げとなっており、セカンドリングはなじみのよいようにパーカライジング処理が施されている。この2本のリングは、側面の光沢の有無ですぐに見分けることができる。オイルリングは、シリンダー内壁に附着したオイルをかきおとす働きをする。

ピストンリング装着で大切なことは、これらピストンリングの挿入位置を間違えぬことと、リングの合口附近にある刻印を上側にし、かつ合口の位置をそろえず、ピストンボス（ピン）方向と側圧方向（前後方向）を避けてふり分けて組付けることである。

■数値管理の重要性

シリンダーとピストン、クランク軸の軸受部およびコンロッド大端部とメタルの関係は、それぞれ基準のオイルクリアランスを保つよう数値で管理されている。この数値管理を忘れては正しい整備は行なわれない。

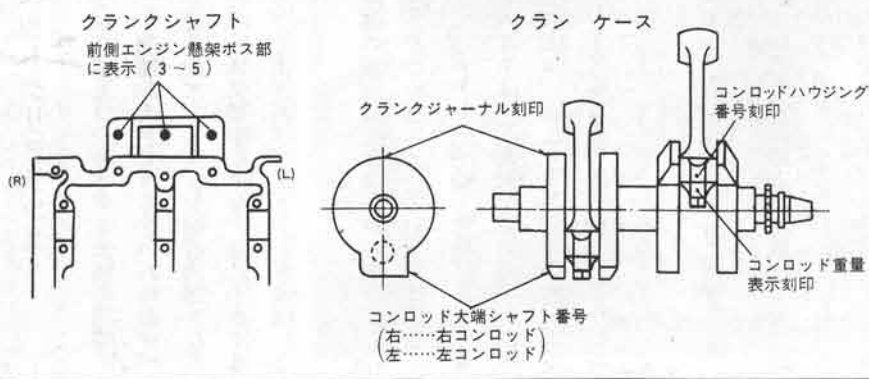
シリンダーボア73mmのTX500を例にとればシリンダーとピストンのクリアランスは50〜55ミクロンが基準値。シリンダーのサイズはシリンダースリーブの下部にインクで記されており、これが015とあれば、73・015mmのシリンダーボアであることを示す。したがってこのシリンダーに入るピストンは015より小さいものということになる。



ピストンのサイズは頂部に数字が刻印されている。例えば963とあれば72・963mmということとで、73・015mmのシリンダーとの差は0・052mmで50〜55ミクロンの基準値に合致し、OKということになる。これらのサイズはスタンダードサイズのほか、一定の基準でオーバーサイズが用意されていることはいうまでもない。クランクジャーナル（軸受部）のメタルはクランクアッパーケース前部の裏面にある分類番号からクランクウェブのピンと反対位置にある分類番号をひいた答えの数字がメタルの使用番号を示すものとなっている。同様にコンロッド大端部メタルはコンロッドハウジングの分類番号からクランクウェブピン側にある分類番号をひいた答えの数字がメタルの使用番号である。

メタルはクランクジャーナル3、コンロッド

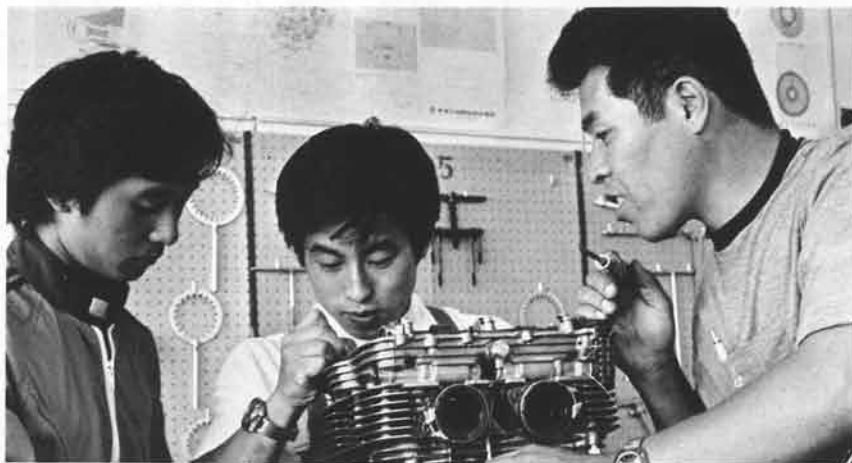
分類番号の表示(TX500の例)



大端部2の都合5カ所あるが、それぞれ使用されるメタルの番号はこのようにしてきめられている。なおメタルの番号は背面にインクで記されている。

この組み合わせが規定の基準内になると、正規のオイルクリアランス（28〜51ミクロン）が保たず、軸とメタルの焼付きなどのトラブルを起す恐れが生じる。メタルの交換部品の発注については番手の指示が大切である。

なお、このような数値管理からクランクケースの交換は、たとえ数値が合致したとしても、アッパー、ローアーのアッセンブリー交



▶テクニカル・トーク

キャブレターの混合気(空燃比=空気とガソリンの重量比)は、夏は冬よりも、気圧の高いところよりも低いところのほうが濃くなる? 薄くなる? 答えは濃くなる。気温が高く、気圧の低いほうが、ガソリンは蒸発しやすくなるからである。

オイルはなぜ黒く汚れるのか? それはオイルのもつ清浄作用の働きで、エンジン内に附着したカーボンなどを溶かすから。だからオイルの汚れは当然のこと。汚れなければ不思議。

オイルは指定オイルを使い、新車時から500km時、3千5百km時の全量交換と、オイルフィルターの交換は必ず守ること。以後はT X500の場合、6千km走行ごとのオイル交換となる。オイルの汚れも一つの判断であるが、走行料数を勘案してオイル交換を行うよう整備していきたいもの。

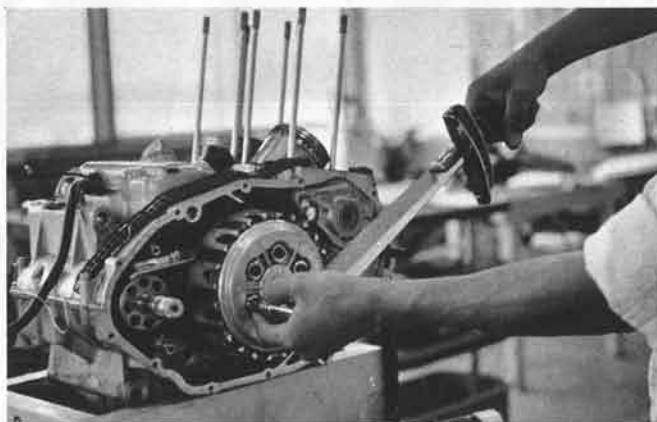
OHCのカムシャフト駆動はギヤ、シャフト、ベルト駆動などがあるが、チェーン駆動が一般的。T X750/650ではこのカムチェーンが左右シリンダーの中央にあるが、T X500は右側にある。そしてチェーンの回転方向はうしろに向けての逆回転。このためチェーンテンショナーがエンジンの前側にある。なぜ、チェーンの回転方向が逆なのか? これはツウのお客さまには絶好の話。

材質にひずみを起し、圧縮洩れ、オイル洩れ換となる。

■締付トルク

一般に4サイクルでは、2サイクルに比較してエンジン各部の締付けトルクが重要な意味をもっている。これは、4サイクルはその機構上、熱的、圧力的にシビアな面をもっているためで、正しい締付けが行われないとオイル洩れ、ガス洩れなどのトラブルを生じたりする。

エンジン各部の締付けに際しては、きめられた順序に内から外側へ、対角線上にひろって交互に仮締め(規定トルクの $\frac{1}{2}$)していき、最後にトルクレレンチを使って規定の締付トルクどおりに正しく締付ける。仮締めすることなく、一気に締付けたり、必要以上の過大なトルクをかけて締付けたりしてはいけない。



の原因をつくることになるからである。トルクレレンチは整備士にとって必需品。必ず規定の締付トルクにしたがって整備すること。



こんにちは
ヤマハ
です



きょうもお客様さまのために

秋田市新屋船場町3の15

あべ輪友

阿部 侑弘社長



ショーウィンドウの内と外。商品もいちだんと栄える採光がとられている

「あべ輪友さんは秋田一立派なお店ですよ」と、秋田オートの高橋部長に案内されて行った阿部さんのお店は、秋田市の中心街から車で約10分のところ。秋田空港と市街を結ぶちょうど中間の新興住宅地にあり、所帯数約3千という町内の人口も年々増加しているとのこと。

免許教室用の ルームもある新店舗

T字型の交差点に面したあべ輪友さんの店は高橋部長のいうとおり、たいへんモダンでゆったりと余裕ある独特の店構えで、通る人の目をいやがうえにも引きつけるのに充分といった感じです。

ご主人の阿部備弘社長はまだ33才の若さ。6年前、お父さんとお兄さんとがやっている「阿部自転車商会」から独立し、現在のところにお店を構えてスタートしました。

そして昨年の暮、隣接の空地を入手し、それまでのお店を改築すると共に、新しい土地にも増築し、二階建て、総面積270平方メートル（82坪）の堂々たる家屋をつくりました。

このうち、店舗関係は一階が119平方メートル（36坪）、二階が40平方メートル（12坪）です。二階には免許教室専用のすばらしいルームも用意されています。

小学校四年生ごろから、お父さんのやっているお店に修理に持ちこまれたオートバイに乗っておこられたり、高校時代は、自転車部で活躍したという根っからの二輪車、オート

バイ好きの阿部社長は、なぜか「自分はオートバイ屋にはなりたくなかった」と語っていましたが、その阿部社長が、独立してから、5年余の実績でこうした立派なお店を持った秘訣はいったいなんだったのでしょうか。

豊富な企画力と実行力

秋田オートの担当セールスマン佐々木幸雄さんが阿部備弘社長の成功の秘訣をこう語ってくれました。

「阿部さんは、お客さまを楽しませる」ことに徹していますね。他のどのお店よりも早く、多彩な催し事を企画し実践しています。ツーリング、モトクロスはもちろんのこと、トライアル、スノーモビル、展示会、映画会、免許教室、ラーリングと一年中なにかしらの催し事を行っています。

また、仕事をする時と遊ぶ時のけじめがきちんとしています。例えば、ふみ子ちゃんというかわいいお子さんがいるのですが、店は仕事をする場所だからと、ふみ子ちゃんを店内で遊ばせることはめつたにしません。

店内のディスプレイも絶えずかえて、変化をつけています。ヨット、船外機、小型ボートを展示することもあります。

安全運転の指導にも力を入れ、変型ハンドルを求めるお客さまや、深夜族（サーキット族）をうけつけないといった態度や、お客さんに対し、お世辞や調子のいいことを言わないといった阿部備弘社長の人間性も、また大きな魅力の一つです。

私達に対していろいろな注文を出しますが、



ご自慢の免許教室ルーム。毎月1回の定期開催で、免許なら「あべ輪友」のPRがいきとどき、ラジオ放送の取材対象としてもえらばれた



店内の接客カウンターで。左は秋田オート・高橋営業部長



担当の佐々木幸雄営業部長と、かわいいさかりのふみ子ちゃん



去年は田沢まででかけたスノーモビルも今年は雪が多かったため、近くの雄物川の河原でできた



みごとなディスプレイのブジョーコーナー

その分だけ、やることをやって決して頼みっぱなしといったことをしない人です。」

お客さまに

楽しみ方を指導

店舗を新しくしてから、若い感覚の店づくりが、若者の心をとらえ、それまで以上に多くの人が来店するようになりました。また年輩のお客さま方からの信用も増し、地元の親御さんから、「これから子供をお店にやるから、ぜひ相談にのってください」との電話もよくかかっています。

お店が新しくなってこんなこともありました。それは、この春に、オーバイを特別セールスする計画で3日間の展示会を開きましたが、集まったお客さまは、特別奉仕品は買わず、店内の普通価格のものを買って行きました。お店のもつ、デラックスな雰囲気がお客さんをそんな気分にしたようです。

あべ輪友さんを取りまく環境は、海あり、山あり、河ありのモータースポーツには絶好のところ、また、すぐ近くを流れる雄物川に沿って、サイクリング専用道路もあり、自転車を加え、モトクロス、トライアル、スポーツ、レジャーと、全車種バランスのとれたご商売をされています。

「これからも、お客さんに喜んでもらえることは率先してやっていくつもりです。」と語る阿部侑弘社長の頭の中には、つぎの催し事のプランがもういくつかでき上っているようでした。

きょうの阿部侑弘社長はなんとなく落ちつかぬ様子。それもそのはず、きょうは秋田放送（ABS）の取材の日、美人キャスタードレイパーとして売れっ子の荻原さつきさんが、「あべ輪友」さんを訪れ、免許教室など、二輪情報を取材、生放送されるというのです。なんか落ちつかないナア」というご主人に、奥さまの栄子さんがお茶を入れ、「ふだんのあなたでいきましょう」とやさしい心づかい



お店の前のテラスで本番前の打合わせ。「あの、オートバイといってもいろいろなものがあるでしょう」「エエ、ファッションブルなレジャーバイクから、日常生活に欠かせないビジネス車、若い人たちに人気あるスポーツ車とか、変わったところではトライアル車など……。ええ、50ccバイクは普通免許で乗れるんです……」と調子をほぐされて



いよいよ本番、オン・エア。「おはようございます。きょうのエコレポートは、新屋の「あべ輪友」さんをお訪ねし、ご主人の阿部侑弘さんから、いま評判の原付免許教室についてお話をうかがうことにしました。阿部さん、おはようございます」「おはようございます」「さっそくですが……」とマイクが出て、阿部社長の免許教室談義が始まりました



「阿部さん、きょうはいろいろとためになるお話をありがとうございます」で、「ウワーツ、終わったア」と、ホッと。「うまいものだね、さすが阿部ちゃんだ」の高橋部長の言葉に、美人キャスターも「ほんとにお上手でした」とあいづち。「いや、あがっちゃって、つい、かっこいい言葉をつかおうとしてね」と、阿部侑弘社長



みなさんどうもご苦労さまでした。全員で記念撮影。この放送の話は一週間ほど前に持ちこまれたとのこと。「なにか、この一週間はおちつかなかったね。本番はたった5分位だったけれど、1ヵ月まるまる仕事をしたような気分です」長かったようで、あっという間に終わったインタビュー。でも、「あべ輪友」さんにとってPR効果抜群の日でした

★全日本モトクロス第6戦 北海道大会

石井正美セニア250で初優勝 でっかい勝ち星・五十嵐聖治(札幌)



セニア250の迫力あるスタートの一瞬



道産子の意気ここにあり。J-250優勝の五十嵐聖治(札幌YRC)

全日本選手権シリーズ第六戦北海道モトクロス大会は七月六日、七日、当初予定されていたテイネオリンピックから留寿都スキー場へと会場を移し、参加二百六十八台、観衆一万余をあつめて行われた。
ノービス、ジュニアの子選・決勝が行われた六日のレースでは、関東、東北からの遠征

組がノービス3クラスのアタマをとったが、地元・北海道組もよく善戦した。またジュニアでは、注目の新しい星、ヤマハ車の谷川徹二(大阪北山レーシング)が90ccと125ccと連勝して、再び三重勝を果すかにもえたが、残る250ccではヤマハ車に乗る札幌YRCのエース五十嵐聖治にリードを許して2位に甘んじた。五十嵐聖治の活躍は北海道勢に大きな勇気と希望を与えたことで特筆されてよい。
次いで七日のレースでは、エキスパートジュニアでトップを逸し、セニア125も鈴木秀明の3位を頭に、瀬尾勝彦、石井正美、杉尾良文の4、5、6位に終わったが、セニア250では石井正美(スポーツツライダース)が今年のセニア昇格後初の栄冠をさらい、瀬尾、杉尾で1、2、3位を独占した。
こうしてヤマハ車は三部門10レースのうち5優勝を記録した。

★全日本モトクロス第七戦 愛媛大会 ヤマハ9レースに勝利 セニアは秀明が独占



グアーンと豪快なジャンプ。S-125の鈴木秀明(遠州ライダース)

全日本モトクロスも後半戦を迎え、参加選手の意気込みもまた一層のりあがりを感じさせるなか、愛媛モトクロス大会が快晴に恵まれた七月二十七・二十八日、松山オートテックで開かれた。全長17キロの山コースは、逆バンクとピンカーブの構成で、高度なテクニックが要求される。

27日のノービスでは、90ccに地元の篠崎公泰(遠州ライダース愛媛)が、125・250ccには福岡敬治(中部スポーツツライダース)が勝利を手にした。

翌28日、万人の観衆を集めたなか、ジュニアで快進撃をみせる大阪北山レーシングの谷川徹二が90ccに、二戦目よりジュニア昇格の福岡ブレイメイットの光安鉄美が125・250ccに完璧な二重勝をみせると、光安と同じチームメイットの河内・大賀も大活躍、ヤング・ヤマハを見せつけた。

EJクラスでは、藤正徳(福岡ブレイメイット)が125ccに終始安定した走り、最後の二周でトップに立ち、今シーズン初の勝利。250ccでは同じ福岡ブレイメイットの末永初弘が、後半になって猛追したものの、もう一步おおよばず2位にとどまり、今後のレースに期待されるものを見せた。

注目のセニア125cc、40分+2周のレースを安定した走りをみせる鈴木秀明が、増田耕二

第7戦(四国、愛媛モトクロス大会)でのセニア125cc、250ccレースで、ヤマハの鈴木秀明(ゼッケン②)がダブル優勝をとげ、これにより鈴木秀明は125cc中間ランキングで小田切信雄(スズキ)を抜き、3位にランク。今後のポイント争いを興味深いものにしていく。なお、第7戦を終了した時点でのポイントランキングベスト3は次のとおり。

セニア125cc		セニア250cc		
順位	氏名	車名	ゼッケン	得点
第1位	木下 信安	ヤマハ	②④	53点
第2位	増田 耕二	スズキ	③	51点
第3位	鈴木 秀明	ヤマハ	②	40点
第1位	石井 正美	ヤマハ	②⑥	56点
第2位	杉尾 良文	ヤマハ	⑤	53点
第3位	鈴木 秀明	ヤマハ	②	50点

(岡山ユニオンC)のレースミスに乗じて逆転勝利。2位増田、3位杉尾、4位石井。
40分プラス2周の250ccは、巧みなベース配分でのぞんだ鈴木秀明が、中盤からトップに立ち、2位に続く杉尾と共に1分58秒のラップを保ちながら周囲を重ねる。いっぽう、後には着実に上位にせり上る岩尾、唐沢、石井のヤマハ勢が続く。観衆の目は完全にヤマハを追うものとなった。最終周で秀明は一周1分56秒2のラストスパートで、チェッカーをくぐり、ダブル・ウィナーとしての大声援を受けた。2位以下も順位は変わらず、ヤマハ勢は1・2・3・4・5位の完勝で、四国のモトクロス・ファンに期待に応えた。

片山敬済世界GPに優勝!!

デビュー三戦目での快挙

ヤマハワークスチームにニュースターが誕生した。その名は片山敬済、昨年度のMFJエキスパートジュニア750cc級のチャンピオンである。

今年の世界選手権ロードレースシリーズ第六戦目のダッチTT250cc級に、ワークスチームのメンバーとしてデビュー、このレースではリタイアしたが、次のベルギーGPでは、超高速のフランコルシャンサーキットで、K・アンダーソン、D・ブラウン、J・ドッツなどいずれ劣らぬチャンピオン級のライダーと、コンマ1秒を争う熱戦を展開、結局時間差なしの三位に入賞した。

さて、シリーズ八ラウンド目のスウェーデンGP（七月二十一日）250cc級、二十六ラップのレース序盤のベースメーカーはペテランのJ・ドッツ（ヤマハ）であったが、二週目に早くも片山がトップに進出して来た。



ドッツ、アンダーソン、C・モーターマイアといったヤマハのライダーたちが後続して前半を終了、後半は、ハーレーダビッドソンのワークスライダーW・ピラが二位に上つてきたが、一分四十七秒七（八三・七〇マイル/時）のサーキットラップ新記録をマークして、いよいよ快調の片山は、二位に三十秒以上の差をつけてゴールイン、待望のロードレースGP初制覇が成った。

日本のエース片山は、これで一躍世界のスターダムにのし上つたのだ。次のフィンランドGPでは、レース途中のコースアウトのハンデをカバー、五位入賞の成績を取め、世界選手権ポイント順位では、二位のP・ボンズ（ヤマハ）に1点差で三位にがんばっている。

ヤマハラライダー

各クラスに活躍

シリーズ七戦目のベルギーGPでは、スウェーデンのエースK・アンダーソン（ヤマハ）がハッスル、250cc級優勝、125cc級はA・ニエート（テルビ）について二位に入賞した。また、500cc級は、首位P・リード（MV）二位G・アゴスチーニ（ヤマハ）の順になった。

八戦目のスウェーデンGPでは、片山の250cc級優勝のほかに、フィンランドのT・ランシホリ（ヤマハ）が350cc・500cc両級の優勝を独占。さらにアンダーソン（ヤマハ）が125cc級に優勝、またオープン750では、TZ750に乗ったC・モーターマイアが優勝、マン島TTにつぐGP五種目制覇の記録を達成した。九戦目のフィンランドGPではJ・ドッツ

が350cc級のウイナーになったが、125cc級、500cc級では、D・ブラウン、T・ランシホリが

それぞれ三位に入賞したにとどまった。

世界選手権モトクロス

各クラスに激戦続く

後半戦に入った世界選手権モトクロスは、各クラスに激戦が続いている。

500cc級第七戦の英国GP（七月七日）で、ヤマハのJ・V・ベルソーヘンが、首位、二位の最高成績を取めた。

A・ヨンソンは五位・八位、また臨時にこのクラスに起用された鈴木都良夫は第二ヒートで九位に入賞。

一週間後のアメリカGPでは、スズキのR・テコスターが首位・三位の成績でトップ、ベルソーヘン再び健闘して三位・六位。

七月二十八日の第九戦オランダGPでも、テコスターが三位・首位、ライバルのH・ミッコラ（ハスクバーナ）は、第一ヒートの首位だけに終り、両者の差はわずか10点。ベルソーヘンは四位、リタイア、ヨンソンは六位、四位であった。

つぎのベルギーGP（八月四日）の両ヒートの首位・二位をテコスター、ミッコラが独占し、タイトル決定は最終戦のルクセンブルグGP（八月十一日）に持ち越された。このラウンドでは、ヨンソンが三位・六位で、ベルソーヘンは第二ヒート四位。250cc級第九戦のフィンランドGP（八月四日）で、ヤマハのエースH・アンダーソンが久しぶりに健闘、三位・二位に入賞。H・エバーツ（プッフ）、G・モイセフ（KTM）が各ヒートの首位になった。

もう、お気づきですか

テレビCF

ヤマハの新提案「天気の良い日はバイクに乗ろう」のおなじみのテレビCFが、TBS（東京放送）系の毎週金曜日午後七時三十分から放映される人気番組「星の子チョコ」終了後に流されているほか、八月一日から同じTBS系のニュース番組、午後十一時（地方局によっては一部時間ずれがあります）からの「JNNニュース」時にも加わりました。

どうぞ「天気の良い日はバイクに乗ろう」を、お店の合言葉にお店のPR面で、販売促進面でお役立てください。

プジョーコーナー拜見

(有) 信濃商会

高松市兵庫町一の十四



一級信濃商会の看板店。信濃商会の選定商品を見る。信濃商会の選定商品を見る。信濃商会の選定商品を見る。

ものがなければいけない。これからますます激化する商戦にあって、私はこうした信念を貫き、誇りある商売をつづけたい。

15才でサイクル界に入り、22才で店をもち29才の転期。そしていま47才。長年の経験から得た中広く、奥深い知識は、今年の6月に「プジョーコーナー」の設置という一つの現象をみた。

「プジョーの発売時期から考えると、ちょっと遅い感じがしないでもないが、これも私の考え方によるもの。プジョーをあらゆる角度から、じっくり検討する期間が必要だったんです。高松における市場性、つまりプジョーに対するお客さまの要求度、そして私の店が得るメリットなど、私なりに考えて、これ

ならないける」と確信をもち、これまで単一名柄に絞ってきた店内に「プジョーコーナー」を設置する決断をくだしたのです」

自分の仕事に対して激しいまでの情熱と、周囲からみるとかたくななまでの商哲学は販売台数の向上という実績でみごとな発展を生みだしている。

「商売において宣伝は必要だが、その宣伝の大役を、約束の履行、一級名柄品の取扱いという店の信用と格でつくってきた」

この言葉が信濃商会さんのすべてを物語っている。

今から二十五年前、弱冠22才にして信濃商会を創設した信濃久男社長。当初はいかに多くを売るかに無我夢中で過してきたという。その信濃久男社長に、商売とは何かをじっくり考えさせたのが、七年後におそった三年間にわたる闘病生活であった。

病室の白い壁を見つめながら「採算ベースに見合った商売、お客さまともども発展する商売、誇りある商売とはなにか、自分の選んだ職業についていろいろと考えた」という。

その結果が高級品の選択と、スポーツ車需要の促進ということになった。

信濃久男社長は語る。「色とりどりの商品を数おいて、プラスチックのお客さまを得るのはやさしい。しかし、店の将来を考えるときは、それはあまりにもイージーすぎる商法であると思う。やはりそこには、信濃商会でなければ——という、いっぽんスジの通った



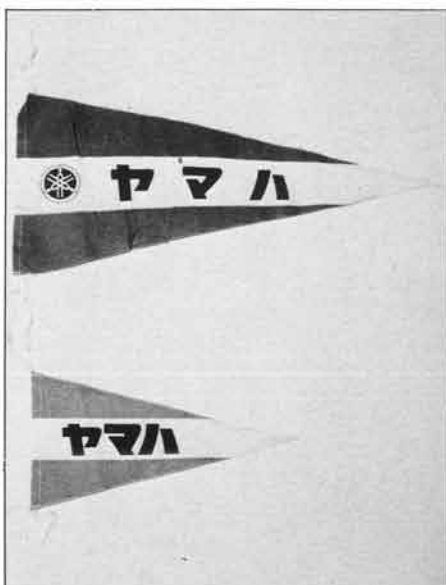
お店を飾るPR用品のご注文をどうぞ

お申付けは担当のヤマハマンがお受けいたしております。

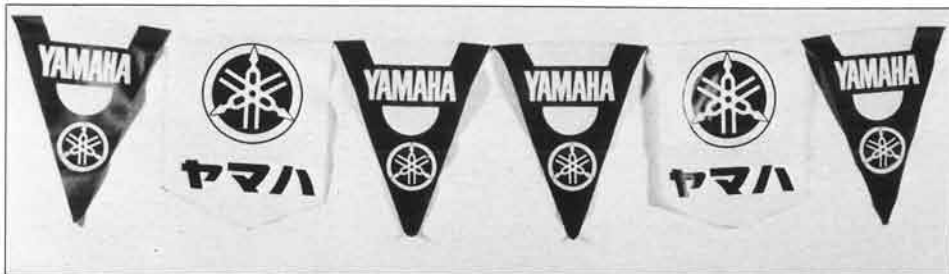
(カッコ内の番号は品番)



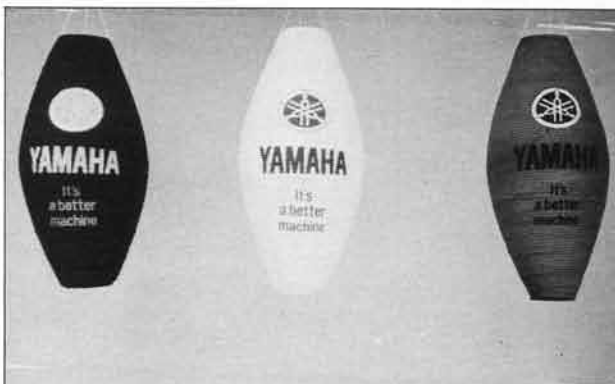
●ペナント (012503)
赤、青、橙色



●三角旗<大>(012502)
●三角旗<小>(012501)



●のれんC (012505)



●ちょうちんA (012506) 紫、白、橙色
●ちょうちんB (012507) 黄、青、赤色



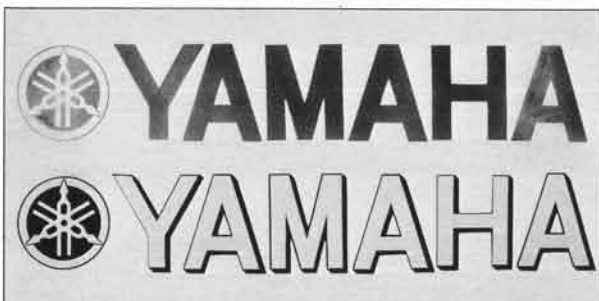
●カタログフォルダー
B (012510)
A (012509)



●ヘルメット型
照明スタンド
(012512)



●ロゴマークステッカー
(012310) B5判 赤、緑文字



●文字ステッカー<大、小>
赤色(012305) 黄色(012306)

どうぞご利用ください 新しいプジョーのPR用品

プジョー・サイクルをイメージづけるPR用品がいろいろと用意されています。プジョー・サイクルをお取扱いのみなさま、お客さまのご利用をお待ちしております。(ご注文は
お店の方から担当のヤマハマンにどうぞ)



●012601 プジョーキャップ(A)
しゃれた感じが好評です。綿製



●012602 プジョーキャップ(B)
男女兼用でご使用になれます



●012603 プジョーハット(C)
女性用。暑い日差しを避けます



●012604 プジョーハンカチ(黄)
●012605 プジョーハンカチ(青)
綿100%。大版、刺しゅう入り



●012610 プジョー三角旗(小)
マス・サイクリングを楽しむ



●012606 プジョーTシャツ(A)
えり、そで口はゴム編み。綿製



●012607 プジョーTシャツ(B)
3色ワンポイント入り。綿製



●012608 プジョーエプロン(A)
特製のキャンバス製。サービス用



●012609 プジョーエプロン(B)
綿100%。カラフルなデザイン